読売新聞

縁日や浴衣の着付け　日本への関心深める文化祭

2025/03/31, 22:15 JST

遠藤信葉

香港中文大学で３月３１日、日本文化祭が開かれた。日本への関心を深めるため、日本研究学科の学生らが中心となり、２０年以上にわたって、毎年開催している。

香港中文大学での日本文化祭で短冊を飾る学生（３月３１日）＝遠藤信葉撮影 PHOTO: 読売新聞社

会場には、射的やたこ焼きなど日本の縁日をイメージした出店が並んだ。参加した学生らは、浴衣の着付けを体験したり、願い事を書いた短冊を飾ったりして、日本文化に触れていた。

香港中文大３年の呉佩霖さん（２０）は「小さい頃から日本のアニメが好きで、今もドラマにはまっている。多くの人に日本の魅力を知ってもらいたい」と話していた。

香港中文大は１９６７年、日本研究学科の前身となる日本文化や日本語を学ぶコースを開設した。現在は、日本文化や語学など日本に関する授業を履修する学生が１０００人以上在籍する。主専攻課程の学生は１年間日本に留学し、文化や社会について学ぶという。

© 2025 The Yomiuri Shimbun
YDJ-20250331-KKG-OYTGT50081

©2025 Dow Jones & Company, Inc. All Rights Reserved.

DOW JONES 読売新聞 Pro